

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015/8/5		
所属学部	文学部		
所属学科・専攻	国際言語文化学科	学年	4

1. 留学先について

留学先大学名	レンヌ第一大学		
留学先所属学部等	哲学部		
留学期間	出発日 2014/8/25	入学日 2014/9/1	修了日 2015/6/30 帰国日 2015/7/31
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	10分/40分	<input type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	徒歩/バスとメトロ	
	部屋のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 共同スペース有 (キッチン ランドリー) <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 60 % 学食 20 % 外食 20 % その他 () *%で記入してください		
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン日本興亜 海外旅行総合保険	
	大学指定の保険(名称)	LMDE	<input type="checkbox"/> 強制加入
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電)		
	成田	⇄	パリ レンヌ(電車)

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,000,000	円	* おおよそでかまいません。	
出処				
自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金 200000	円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト 150000	円 <input type="checkbox"/> その他 円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親 750000	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円 <input type="checkbox"/> その他 円
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO	円	<input type="checkbox"/> その他名称 ()	円
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金 320,000	円	<input type="checkbox"/> その他 ()	円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	円	<input type="checkbox"/> クレジットカード	円	<input type="checkbox"/> その他 ()
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	銀行	()

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	200ユーロ(記憶があいまいです)
住居にかかった費用	190000 円
その他	

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位	ユーロ		
渡航費(往復)		1 400	190,000	円
海外旅行保険		1 000	136,780	円
OSSMA		220	30,000	円
査証・在留許可証		160	21,800	円
住居		140	194,000	円
食費		300	40000	円
通学に要する交通費		3/往復	410/往復	円
教科書、教材費		30	3000	円
その他大学に支払った経費		155	21000	円
光熱費		0	0	円
その他 (旅行)		880	120,000	円
その他 (雑費)			200,000	円
その他 ()				円

3. 学業面 *必ず留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位認定の有無	
1 フランス語ライティングB1(Ecrit B1)	正規	2.5	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
2 フランス語オーラルB1(Oral B1)	正規	2.5	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3 スポーツ(sport)	正規	6	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
4 実用哲学(Philosophie pratique)	正規	0	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
5 フランス語ライティングB2(Ecrit B2)	正規	2.5	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
6 フランス語オーラルB2(Oral B2)	正規	2.5	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
7 一般哲学2(Philosophie générale2)	正規	0	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
8 哲学史2(Histoire de la philosophie2)	正規	0	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
9 言語哲学(Philosophie du langage)	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

*登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

学期はじめに学部のガイダンスがあるので、その時に配布される用紙に履修する授業等を記入し提出。また留学生は、国際学生をサポートしている先生の所に行き別途の用紙に記入しなければならない。スポーツは、初回の授業に必ず出席し登録をする。フランス語は決められた日時にレベル分けテストを受ける。留学生に無料で授業を提供しているのは前期のみで、後期で登録するためには費155ユーロを支払う。

3-2. 授業内容、方法に関して

学部:講義形式 フランス語:少人数で参加型。レンヌ第2大学のCREFEという語学センターで週に、2時間(18h~)×2回。

3-3. 語学力について

DELTAのB1レベル。しかし特に前期は哲学の授業を履修するのは難しかった。後期にはB2のフランス語クラスに進んだ。フランス語の授業は簡単でも、学部の授業はかなりの努力を要した。最終的にはフランス語のリスニングやスピーキングはかなり上達したと思う。

3-4. 図書館など学内施設について

図書館、レストラン、カフェ、スポーツ施設がある。学生寮はキャンパスのすぐ近くにある。

3-5. その他

今のところ、レンヌ第1大学(Campus beaulieu)からレンヌ第2大学(Campus villejean)まで行くにはバスを乗り継ぐかバスとメトロを乗り継いでいく。あと数年後にメトロの第二線ができる予定なのでもっと早く行けるようになるだろう。

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等にご記入ください。

4-1. 住居について

寮は申し込むときに2つのタイプのどちらかを選んで申し込めるが、リニューアルされていていい家賃が高いほうがおすすめ。もう一つのタイプは、家賃は安いですが、シャワー・トイレ共同で、共同キッチンが狭く冷蔵庫共同。実際に住んだのは、リニューアルされているほうで、キッチンは共同だがシャワー・トイレ・冷蔵庫は個室にある。広さは9㎡くらい。レンヌ第一のキャンパスBeaulieu はすぐ目の前。

4-2. 食生活について

スーパーで食材や食事を買い自分で料理して食べるが多かった。大きな共同キッチンがあったので、友達と料理をシェアすることもあった。また、学食で昼食をとることもあった。夜は、街に出てガレットやクレープを食べたりもした。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

寮には無料でWiFiが使えた。大学でも登録して使うWiFiがある。携帯電話については、日本で買ったものをすぐに壊してしまったため新しく買った。SIMフリーのスマートフォンの本体を買い、SIMカードのプランを別に契約した。

4-4. 服装について

昼夜の気温差があるので、上着などで調節をすると思った。

4-5. 健康管理について

とにかくよく食べて、よく寝ることが大事だと感じた。昼夜の気温差があるので、夜は体を冷やさないようにするとより良いと思う。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

利用しなかった。

4-7. 課外活動について

寮には地元のフランス人の学生だけでなく留学生も多く住んでいたため、ときどきそれぞれの国の料理を持ちよってパーティなどを開いた。また、寮の友達とは小旅行に行ったり、スポーツをしたりした。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

Bretagne-Japonというクラブの存在を、フランス人の友人から教えてもらった。日本人は、会話(バイリンガル)のクラブに無料で登録できる。二回ほど参加した。

4-9. 日本から持参してよかったもの

パソコン。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

衣服類。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

フランスでは、日本とくらべてあいさつを重んじることに気付いた。たとえば店に入ったときには「こんにちは」といい、会計が終わったら「ありがとう。さよなら。」などと言うのがマナーだ。知り合い同士会った時も、ほぼ必ずビス(頬を合わせる)か握手をする。街で人に少しぶつかったり、また、人のすぐそばを通らなければならないときは「すみません」と必ず言う。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

* ロンドン(イギリス)3/13-3/16 * デュッセルドルフ(ドイツ)06/19-06/24 * プラハ(チェコ)06/25-06/26
* ブダペスト(ハンガリー) 06/27-06/28 * クラコウ(ポーランド)06/29 * ティミショアラ・ブカレスト(ルーマニア) 06/30-07/03 880ユーロ

その他

5. 報告 *5-1~4は、年度末発行の留学報告書の原稿となります。

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

私はレンヌ第1大学の、哲学部で2学期間勉強しました。レンヌ第一大学は、1460年創立のブルターニュ大学にルーツを持つ歴史ある大学です。キャンパスはレンヌに3つあり、哲学部はそのうちの科学系の学部が集まっている「Beaulieu Campus」にあります。そこは広大な敷地があり、自然がいっぱいの美しいところです。他には、経済系と、医学系のキャンパスが分かれています。レンヌ第一大学には26 762人の学生が通っています(2013/01/01)。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

学業面では、学部の授業とフランス語の授業を履修しました。前期は言葉に慣れていないこともあり学部の授業ではまったくついていけませんでしたが、何も教授が話していることが解らないなか、教室にいるのは正直に言うと苦痛でした。しかし後期には次第に言葉や授業スタイルにも慣れ始めました。もちろんそれでも授業を理解したりテストを受けることはとても大変でしたが、それでもテスト勉強に打ち込んだり自分なりに勉強の仕方を工夫したりしてどうにか最後にはかなりの成長ができたのではないかなと思います。学業以外での生活では印象深い出来事がたくさんありました。レンヌに到着した日、同じくレンヌに着いたばかりの留学生たちと会ったのですが、彼らはフランス語がまったく話せなかったことが驚きでした。私は英語をすっかり忘れてしまっていたので、最初のうちは戸惑いましたが、お互いに協力しあい色々な経験をした今ではかけがえのない仲間たちです。彼らとともにパーティやスポーツをしたり、悩みを話しあったり、休日は小旅行をしたりしました。そのおかげで、毎日を明るく楽しく過ごせたのだと思います。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

私がアドバイスしたいのは、皆さんが留学する時(留学中)、自分自身にプレッシャーをかけすぎず、自分を責めないようにすることです。留学先は、多くの人にとって刺激が多い場所だと思います。一年間いうことで、高い目標と絶対に良い留学にしてみせるぞという気持ちがあることでしょうか。その目標ややる気はとても大事だと思います。でも勉強や生活の上で失敗したり、うまくいかないことがあったりするのは当たり前前のことです。新しい地での刺激は楽しいと感じる反面、いつも以上にストレスを感じることもあるのです。言葉も違えば人も違う。国の雰囲気やマナーも違います。だから、そこで失敗することや、うまくいかないことももちろんあります。決してそのせいで自己嫌悪に陥ったり、自分を責めたりしないでください。失敗しても、大方はたいしたことありませんし、やり直せます。何事も楽しみながら取り組んで、よい留学生活になることを願っています。

5-5. 留学を終えて *派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

プログラムについて:特に書くことがないときがあったので報告書は2か月に1回にしてもいいかなと思った。それから出発前の授業プレゼンテーションをするのは自分の研究テーマ等を明確にできるし言語の勉強にもなったし良いと思った。しかし、ドイツ語やフランス語など英語圏以外に留学する人だけ、その国の言葉・英語・日本語でレジュメを作ったりプレゼンを聞いたりするのは、単位もなかった上に不平等だと思った。 今後の目標:フランス語力を維持すること。 進路:フランスの大学に進学する予定。しかしそれに対して不安がある。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2015.2作成版